

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-08 □支援部門		商工業振興事業				
主管課	観光商工課	関連課					
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	快適で魅力的な商店街づくり、製造業等の持続的発展及び新規事業への取り組みを図る						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	3,063	2,710	4,744			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	3,063	2,710	4,744			
	人員配置数	0.5	0.5	0.6			
	人件費(千円)	4,112	4,462	5,494			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	7,175	7,172	10,238			
	市民1人当りの経費(円)	40	40	58			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
商店街会員数	×	目標値	2,300会員	2,300会員	2,300会員	2,300会員	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	2,109会員	2,135会員	2,076会員	2,064会員	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
商業振興共同施設助成事業	569千円	①効率性 ○ ②妥当性 △ ③有効性 ○ ④公平性 △		⇒ □A □B ■C □D □E	
	事業の概要	商業団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成する。			
新規活性化事業	1,871千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	商工業元気アップ事業に要する経費の一部を助成する。			
工業振興事業	623千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	環境共生事業、経営革新事業に要する経費の一部を助成する。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	商店街街路灯維持費等について、より一層の支援が求められている。		
課題解決のための取組	商店街街路灯のLED化推進のための具体的な取り組みについて検討。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	LED化推進に向けて、商業振興共同施設設置費補助金交付要綱の見直し。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		↓	課長等名
		③有効性 ○		↓	課長
		④公平性 △		C	熊澤隆士

